

リーディングDXスクール事業【実践事例】

笠岡市立笠岡小学校（岡山県）

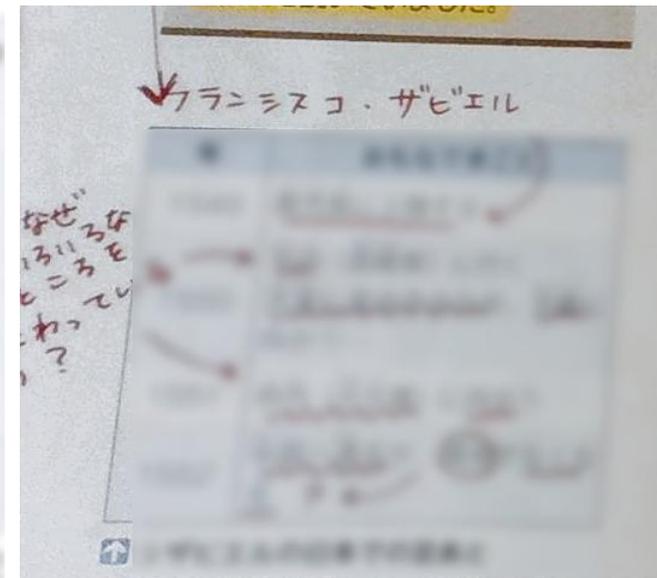
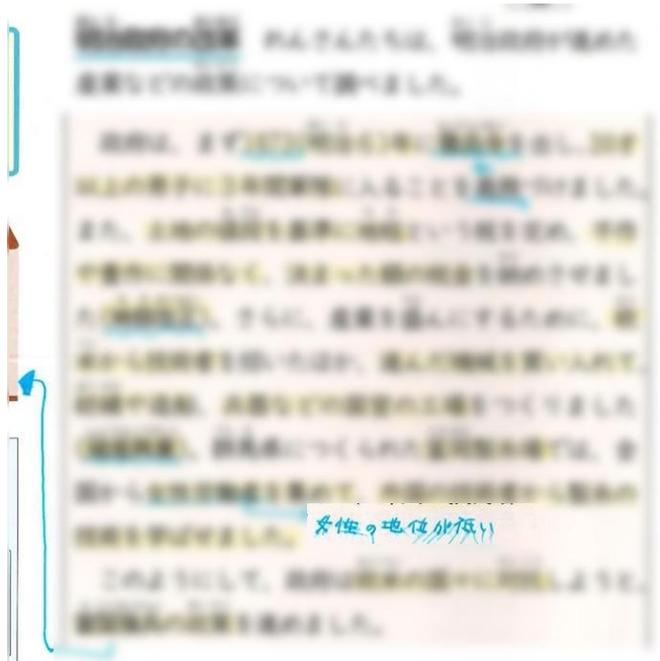
【取組内容】教科書から情報を分析的に読み取り，整理・表現する

1 教科書から情報を分析的に読み取る

高学年で育てたい情報活用能力「知りたいことを図書資料や統計資料など複数の情報を集めて、整理・分析することができる。」を育成する上で、様々な資料の前に「教科書」を中心に活用することを重視している。

教科書は、その道の専門家が吟味を重ねて作ったメディアであり、その表現には全て「意図」が込められている。掲載された写真、図、表、グラフは、本文と関連があり、そのつながりを読み解くことで学習内容の理解が容易になる。リーディングスキルの中の「イメージ同定」「具体例同定」などの基礎読解力を発揮して、子供に教科書を読み取る・読み解く機会を十分に保障している。

特に複線型授業・単元内自由進度学習では、すべての子供が教科書を自分のペースで熟読する光景が定着している。



子供が教科書に行った書き込み（6年社会・一部）

リーディングDXスクール事業【実践事例】

笠岡市立笠岡小学校（岡山県）

【取組内容】教科書から情報を分析的に読み取り，整理・表現する

2 自分のめあてに基づいて情報を整理・表現する

子供は、「教科書の図や写真を比べながら共通点や相違点を見付ける」，「本文の該当箇所と図・グラフ等とを結び付ける」，「キーワード等に線を引いて既習事項や関連した内容を書き込む」等の作業を通して，教科書から情報の収集を行い，社会科の見方・考え方を発揮しながら，内容を整理するスキルを身に付けてきた。その後，自分の学習のめあてに基づいて，Googleドキュメント等のワークシートへ学習内容を表現した。



#今後社会はどのように変わるか(前回の予想)

日米修好通商条約を結んで、日本がかなり不利で不平等な関係でいる＝不満だと思う

〇人々の生活

18世紀：不作⇒米の値段が上がると、飢え死にする人が多数出る

19世紀：幕府の役人＝大塩平八郎が苦しむ人を救う

⇨大商人のやしきに攻めに行く

幕府をたいへんおどろかせました⇒開国して貿易がはじめる生糸が盛んに輸出～品不足～

値段が上がるとまた人々が苦しむ…一揆、打ちこわしをするようになる

⇨民衆が米屋を始め、質屋、酒屋などの富豪を

襲撃(しゅうげき)、家屋の破壊や家財の略

(りやくだつ)などを行う暴動(ぼうどう)の事

不満が高まる(生活に苦しむ人)

薩摩藩、長州藩の下級武士たちによる、

幕府をたおして天皇中心



西郷隆盛・大久保利通・木戸孝允

★朝廷とも手を結び、幕府を倒す計画

15代将軍徳川慶喜は、「幕府の政治を続けることはできない!!」と考え

1867年に政権を天皇に返した(大政奉還)

～鎌倉以来700年ほど続いた武士の世の中終了～

#今回の自分のまとめ

西郷隆盛・大久保利通・木戸孝允は天皇中心の運動をしていた。そして700年の武士の世の中が終了した。

西郷隆盛	大久保利通	木戸孝允
勝海舟とともに江戸城無血開城を実現し、王政復古のクーデターを成功させた。新政府内でも参議として維新の改革を断行。明治6(1873)年征韓論に敗れ下野。10年間の私学塾生活に促されて拳兵(西南戦争)するが、政府軍に敗北し、自刃した。	版籍奉還や廃藩置県を推進し、新政府の基礎を固める。参議、大蔵卿を経て明治4(1871)年特命全權副使として岩倉遣外使節団に随員。帰国後、内政整備を主張し、征韓派参議を下野させるとともに、参議兼内務卿となり、政權を掌握。地租改正、殖産興業の推進など、重要施策を実行した。	幕末から明治にかけ活躍した政治家。長州藩の豪族にざり、後、薩摩藩と手を組み、幕府をたおす。明治新政府で、五箇条の御誓文などを作成。新しい時代の基礎をつくる。

〇活躍した人物について(誰がどんなことをしたのか)

【勝海舟 1823-1899】

江戸攻撃を中止させる

・1863年、倒幕軍の西郷隆盛を話し合い、江戸攻撃を中止させる

【板垣退助 1837-1919】

自由民権運動を指導する

・1874年、「民権議院設立の建白書」を政府に提出する

1881年、自由党をつくる

関連人物後藤藤三郎 江藤新平

【大久保利通 1830-1878】

明治維新を進める

・1868年、薩長同盟を結ぶ

新政府の中心となって版籍奉還、廃藩置県などの改革に努める

関連人物西郷隆盛 木戸孝允

【西郷隆盛 1830-1877】

倒幕運動の中心となる

・1866年、薩長同盟を結ぶ

新政府軍の指揮を取り、江戸城明け渡しに成功

のちに、征韓論を唱えて政府と対立する

・1877年、西南戦争を起すのが敗れ、自害する

関連人物大久保利通 木戸孝允 坂本龍馬

【木戸孝允 1833-1877】

明治維新を進める

・1868年、薩長同盟を結ぶ

西郷隆盛・大久保利通とともに、維新の三傑(3人の優れた人物)と呼ばれる

〇民衆について(どんなことを思っていたのか、どんなことをしたのか)

・開国によって人々のくらしが苦しくなり、幕府に対する不満が高まった

〇幕府について(どうだったのか)

・15代将軍徳川慶喜は、幕府の政治を続けることはできないと考えた

1867年に政権を天皇に返した(大政奉還)

「鎌倉幕府以来700年ほど続いた、武士の世の中が終わった」

〇めあてに対する自分のまとめ

開国して貿易が始まる

亀津先生の話

廃藩置県

・県に代えて明治天皇が管理します(これ県になった)

・300ぐらいの県を削って47になった

身分制

・明治はまだ武士がいた

・西民平等でもまだ差別はあった

・天皇が平等に暮らせる世の中をつくらうとした

・地租改正と廃藩置県をしたことで天皇中心の政治をするよというのをしらせるため

* 予想 方向は生活が不安になっていっているから逆にならばよくないと思う

12月4日(水)

◎新しい国づくりは、どのような方針でおこなわれていったのだろう

教科書P172.173

資料集P102

【明治天皇の五箇条の御誓文、廃藩置県、明治維新】

・下級武士たちが中心となった

・1868年、新しい政治の方針を明治天皇の五箇条の御誓文として示した

五箇条の御誓文

一 政治は、広く意見を聞き、多くの人が意見を述べたうえで決定しよう

一 国民が心を一つにして、新政策を盛んにおこなおう など

・新政府の中心となった木戸孝允や大久保利通らは、天皇中心の政治を全国に、領地と領民を天皇に返させた(版籍奉還)

木戸孝允	大久保利通
身分の低い武士の家に生まれる。16才のとき、吉田松陰のもとで学ぶ。1866年、薩長同盟を結ぶ。西郷隆盛・大久保利通とともに、維新の三傑(3人のすぐれた人物)と呼ばれる。	身分の低い武士の家に生まれる。1868年、薩長同盟を結ぶ。新政府の中心となって版籍奉還、廃藩置県などの改革に努める。のちに、土族の反感をかいて、暗殺される。

・藩を廃して新たに県を置き、政府の役人である知事を派遣した(廃藩置県)

★新しい世の中のみをみをつくりあげるために進められた政治や社会の改革を、明治維新という

【明治時代の身分制】

・政府は

天皇の一族を華族

貴族や大名などを華族

武士を士族⇒刀をさすことを禁じられた

⇒皇族秀吉もしていた